

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

Jc997 U.S. PTO
10/003046
12/06/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-397682

出 願 人

Applicant(s):

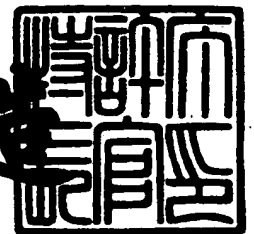
松下電器産業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年11月 2日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3096331

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

Inventors: Hajime SAKAI, et al.

Serial No.: New Patent Application

Filed: December 6, 2001

For: CORDLESS TELEPHONE SYSTEM

jc997 U.S. PTO
10/003046
12/06/01

CLAIM FOR PRIORITY

Honorable Commissioner of
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Sir:

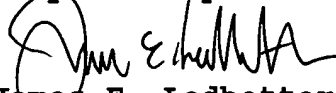
The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified application and the priority provided in 35 USC 119 is hereby claimed:

Japanese Appln. No. 2000-397682, filed December 27, 2000.

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 USC 119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,



James E. Ledbetter
Registration No. 28,732

Date: December 6, 2001

JEL/ejw
Attorney Docket No. L7016.01143
STEVENS, DAVIS, MILLER & MOSHER, L.L.P.
1615 L Street, NW, Suite 850
P.O. Box 34387
Washington, DC 20043-4387
Telephone: (202) 785-0100
Facsimile: (202) 408-5200

【書類名】 特許願

【整理番号】 2913021255

【提出日】 平成12年12月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04M 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 坂井 ▲はじめ▼

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 平井 裕二

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コードレス電話装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に回線を通じて各種信号の送受信を行う親機と、親機と双方向に無線で通信する子機とを備えたコードレス電話装置であって、

子機は親機と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応することを特徴とするコードレス電話装置。

【請求項 2】 子機は単独で携帯電話装置用の情報提供サービスにも対応することを特徴とする請求項 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 3】 受信した各種情報をプリントするプリント部を親機側に備えたことを特徴とする請求項 1, 2 の内のいずれか 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 4】 プリント部をファクシミリ機能部で代用することを特徴とする請求項 3 記載のコードレス電話装置。

【請求項 5】 親機が対応する情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側でプリント可能なことを特徴とする請求項 3, 4 の内のいずれか 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 6】 携帯電話装置用の情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側に送信して親機側で表示可能なことを特徴とする請求項 2, 3, 4, 5 の内のいずれか 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 7】 携帯電話装置用の情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側に送信して親機側でプリント可能なことを特徴とする請求項 2, 3, 4, 5, 6 の内のいずれか 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 8】 プリント機能を有する外部機器側にデータを送信するためのインターフェース部を備えたことを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 の内のいずれか 1 記載のコードレス電話装置。

【請求項 9】 インターフェース部は赤外線通信に対応していることを特徴とする請求項 8 記載のコードレス電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応したコードレス電話装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、情報提供サービスに対応した携帯電話装置の急速な普及に伴い、固定式の電話装置にも情報提供サービスに対応した機種が開発されてきている。ここで言う情報提供サービスとは、数百種の情報メニューが準備された情報サイトへの接続サービスや、インターネット上の情報サイトへの接続サービス等々のことである。

【0003】

以下、情報提供サービスに対応した固定式の電話装置の情報サイトへの接続方法を説明する。図9は従来の電話装置からの情報サイトへの接続方法を示す模式図であり、図10は従来の電話装置の構成を示すブロック図である。

【0004】

図9に示すように、利用者が情報提供サービスを利用するには、まず電話装置1から交換基地局2を介して情報提供サービスセンター3へ電話を掛ける。情報提供サービスセンター3と情報サービス提供者4側とは専用回線かインターネットかで結ばれており、情報サービス提供者4側から提供された情報は情報提供サービスセンター3側で数々の情報メニューとして用意されている。情報サービス提供者4が提供する情報メニューが情報提供サービスセンター3と専用回線で結ばれていれば専用回線を通じて接続され、インターネットで結ばれていればインターネットを通じて接続される。つまり、インターネットを利用する場合には、情報提供サービスセンター3は情報提供サービスにおける唯一のプロバイダーとしての役目を担っているのである。

【0005】

情報提供サービスセンター3とは前述の情報提供サービスを行うための基地局である。因に、携帯電話装置で今流行の「iモード」という商標を用いて説明す

るならば、iモードサービスを行うためのiモードセンターも情報提供サービスセンター3の一形態である。情報提供サービスセンター3からは専用回線を通じて情報サービス提供者4へと繋るし、インターネットを利用すればインターネット上の情報サービス提供者4へも繋る。情報提供サービスセンター3は電話装置1と情報サービス提供者4とを繋ぐための交換機みたいな役割を果たすものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、以上のような電話装置1では、図10に示すように表示部5が備わっているのに、接続した情報サイトの情報は表示部5に表示することはできないものの、情報を見るためには電話装置1から離れることができないという課題を有していた。

【0007】

本発明は以上の課題を解決し、固定式の電話装置から離れた場所でも固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応した情報を見ることができるコードレス電話装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

この課題を解決するために本発明は、固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に回線を通じて各種信号の送受信を行う親機と、親機と双方向に無線で通信する子機とを備えたコードレス電話装置であって、

子機は親機と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応する構成としたものである。

【0009】

この発明によれば、固定式の電話装置から離れた場所でも固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応した情報を見ることができるコードレス電話装置を提供することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項 1 に記載の発明は、固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に回線を通じて各種信号の送受信を行う親機と、親機と双方向に無線で通信する子機とを備えたコードレス電話装置であって、

子機は親機と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応する構成としたものであり、

親機から離れた場所でも子機を使えば親機と同様に固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応した情報を見ることができるので、家庭内のように親機との通信可能な範囲であれば、いつでもどこでも情報を得たい時に情報が得られるという作用を有する。

【 0 0 1 1 】

本発明の請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、子機は単独で携帯電話装置用の情報提供サービスにも対応する構成としたものであり、

親機との通信範囲内にある家庭内では使用料金の安い固定式の電話装置用の情報提供サービスを利用し、親機との通信範囲外では携帯電話装置用の情報提供サービスを利用できるので、家庭内か外出先かを問わず、いつでもどこでも情報を得たい時に情報が得られるという作用を有する。

【 0 0 1 2 】

本発明の請求項 3 に記載の発明は、請求項 1, 2 の内のいずれか 1 記載の発明において、受信した各種情報をプリントするプリント部を親機側に備えた構成としたものであり、

受信した情報を必要に応じてその場でプリントして保存できるという作用を有する。

【 0 0 1 3 】

本発明の請求項 4 に記載の発明は、請求項 3 記載の発明において、プリント部をファクシミリ機能部で代用する構成としたものであり、

受信した情報を必要に応じてその場でプリントして保存できるという作用を有する。

【 0 0 1 4 】

本発明の請求項 5 に記載の発明は、請求項 3, 4 の内のいずれか 1 記載の発明

において、親機が対応する情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側でプリント可能な構成としたものであり、

受信した情報を必要に応じてその場でプリントして保存できるという作用を有する。

【0015】

本発明の請求項6に記載の発明は、請求項2, 3, 4, 5の内のいずれか1記載の発明において、携帯電話装置用の情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側に送信して親機側で表示可能な構成としたものであり、

子機が受信した情報は必要に応じて親機側・子機側の双方で共有することができるという作用を有する。

【0016】

本発明の請求項7に記載の発明は、請求項2, 3, 4, 5, 6の内のいずれか1記載の発明において、携帯電話装置用の情報提供サービスにより子機が得た情報サイトの情報は、親機側に送信して親機側でプリント可能な構成としたものであり、

子機が受信した情報は必要に応じて親機側でプリントして保存できるという作用を有する。

【0017】

本発明の請求項8に記載の発明は、請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7の内のいずれか1記載の発明において、プリント機能を有する外部機器側にデータを送信するためのインターフェース部を備えた構成としたものであり、

受信した情報を必要に応じてその場で外部機器によりプリントして保存できるという作用を有する。

【0018】

本発明の請求項9に記載の発明は、請求項8記載の発明において、インターフェース部は赤外線通信に対応している構成としたものであり、

受信した情報を必要に応じてその場で外部機器によりプリントして保存できるという作用を有する。

【0019】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

【 0 0 2 0 】

(実施の形態 1)

本発明の一実施の形態の概要は、コードレス電話装置において親機と子機とを対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応させると共に、子機側単独でも携帯電話装置用の情報提供サービス対応させ、親機とコードレス通信可能な範囲にある家庭内では親機・子機双方で固定式の電話装置用の情報提供サービスを利用可能とし、親機とのコードレス通信範囲外の外出先では携帯電話装置用の情報提供サービスに対応した子機により携帯電話装置用の情報提供サービスを利用可能にし、家庭内か外出先かを問わずいつでもどこでも情報提供サービスを利用可能に工夫したことである。

【 0 0 2 1 】

以下、本発明の一実施の形態の詳細を図 1 ～図 8 を参照しながら説明する。

【 0 0 2 2 】

図 1 は本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機の構造を示すブロック図であり、図 2 ～図 4 は本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図である。図 5 は本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機の構造を示すブロック図であり、図 6 ～図 8 は本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図である。

【 0 0 2 3 】

図 1 において、コードレス電話装置 1 0 は回線に接続された親機 1 1 と少なくとも 1 台の子機 1 2 とで構成されており、親機 1 1 と子機 1 2 とはそれぞれ一定の距離内 (1 0 0 ～ 1 5 0 m) で双方向にコードレス通信可能である。

【 0 0 2 4 】

図 1 において説明するコードレス電話装置 1 0 の子機 1 2 は P H S であることを前提として説明を行うが、携帯電話に子機としての機能を持たせた機種であっても差し支えない。本発明においては、固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応したコードレス電話装置 1 0 の子機 1 2 が、固定式の電話装置用の情報提

供サービス及び携帯電話装置用の情報提供サービスに対応している点が重要なのである。

【0025】

親機11は制御部13の制御の下に電話の相手側と音声信号の送受信を行うと共に、コードレス通信部の無線送信部14及び無線受信部15を通じて子機12側と双方向にコードレス通信を行う。制御部13はCPUやRAMやROM等で構成されており、親機11の制御全般を担っている。この親機11にはコードで接続された受話器16が備わっているので、受話器16を取り上げてオフフックすると子機12とのコードレス通話（内線通話）や回線を通じての外部との通話（外線通話）が可能である。また、親機11にはスピーカーホン通話部17も備わっているので、スピーカーホン通話部17のスイッチを押してオフフックすると手放しでの通話を行うこともできる。この親機11には留守番電話部18が備わっているので、回線からベルが入来しても親機11側や子機12側で共にオフフックしない場合には、留守番電話部18が作動して入来したメッセージの収録ができるようになっている。この際には、ベルが所定回数（例えば6回）鳴動してもオフフックされないと、制御部13は切り替えスイッチ19を通話回路部20側から留守番電話部18側に切り替えるようになっている。

【0026】

更に、親機11にはファクシミリ機能部22も備わっているので、ファクシミリ通信開始信号であるCNG信号が入来すると制御部13は切り替えスイッチ19を通話回路部20側からファクシミリ機能部21側へと切り替えてファクシミリの受信を行う。受信したファクシミリの内容は表示部22に表示されるので、一瞥（いちべつ）するだけで良い場合はプリントせずに、プリントした方が良い場合は操作部23を操作してファクシミリ機能部21の中のプリント部24を利用してプリントすることができる。本発明では、親機11にプリント機能を付加するためにプリント部24のみを備えても良いが、いっそのことプリント部24を内蔵するファクシミリ機能部21そのものを備える方が便利なので、本実施の形態ではファクシミリ機能部21を備えた親機11を説明に用いる。

【0027】

ところで、この電話装置10には外部機器を利用できるようにインターフェース部25を設けている。このインターフェース部25はワイヤレスで赤外線通信を行うものであっても良いし、通信ケーブルを利用するものであっても良い。インターフェース部25に接続する外部機器は、より高品質なプリントが可能なレーザープリンタ等のプリンタ類や、レーザーファクシミリ等のファクシミリ装置等が挙げられる。無論、接続する外部機器側にも対応するインターフェース部25が備わっている必要がある。ただし、インターフェース部25に外部機器としてファクシミリ装置を接続する場合は、外部機器としてのファクシミリ装置をファクシミリデータが入来したと騙して利用するために、疑似ベル発生回路や回線電流発生回路等を搭載したファクシミリ欺罔（ぎもう）アダプタが必要となる。

【0028】

以下、本実施の形態のコードレス電話装置10において親機11側を操作して情報サービス提供者が提供する情報サイトに接続する接続方法を説明する。接続方法は図9～図10に示す従来例の場合と全く同様であるが、少し敷衍（ふえん）しておく。

【0029】

図2に示すように、利用者が固定式の電話装置用の情報提供サービスを利用するには、まず親機11から交換基地局2を介して情報提供サービスセンター3へ電話を掛ける。

【0030】

図2～図3に示すように、情報提供サービスセンター3と情報サービス提供者4側とは専用回線かインターネットかで結ばれており、情報サービス提供者4側から提供された情報は情報提供サービスセンター3側で数々の目次メニュー26として用意されている。図4に示すように、1番目の「ニュース／情報」という目次メニュー26を選択すると、画面が1枚めくれて数々の情報メニュー27が表示される。この情報メニュー27には有料の分と無料の分とがあるが、有料・無料を問わず利用者は利用したいと思う情報メニュー27を自己の電話装置10に登録することによって情報メニュー27を開くことが可能となる。例えば図4で、1番目の「産経新聞」という情報メニュー27を選択すれば、情報サービス

提供者4が提供するこの情報メニュー27が情報提供サービスセンター3と専用回線で結ばれていれば専用回線を通じて接続され、インターネットで結ばれていればインターネットを通じて接続される。つまり、インターネットを利用する場合には、情報提供サービスセンター3は情報提供サービスにおける唯一のプロバイダーとしての役目を担っているのである。

【0031】

ただし、有料の情報メニュー27を登録すると登録した分の情報メニュー27の登録料が利用者に課せられる課金システムを採用しているので、無用な課金を避けるために登録する情報メニュー27は必要な分だけに止めておく必要がある。

【0032】

情報メニュー27の中には銀行取り引きを可能とするものもあるが、銀行取り引きを利用する場合には銀行に登録済みの暗証番号（通常は4桁）を入力しないと利用できないようになっている。このように機密性を有する情報サービス提供者4に対しては専用回線で結ばれており、予め情報サービス提供者4側に登録済みの特定の人物以外は絶対に接続できないようにしている。

【0033】

以上のようにして、情報提供サービスセンター3を経由し、利用者は情報サービス提供者4が提供する情報サイトに接続することができる。この時、利用者側の親機11の表示部22には接続した情報サイトの情報が表示されている。表示部22に表示された情報が一瞥するだけで良い場合は単に表示するに止めるが、プリントして保存したい場合には操作部23を操作してファクシミリ機能部21のプリント部24を作動させると必要な部分の情報をその場でプリントすることができる。また、より高品質なプリントを望む場合には、前述のようにインターフェース部25にレーザープリンタやレーザーファクシミリ等の外部機器を接続して（アダプタを介して接続の場合もあり）親機11が受信した各種情報をプリントすることもできる。

【0034】

なお、以上の説明においては、親機11にプリント部24が備わっている場合

について触れたが、親機 1 1 にプリント部 2 4 が備わっていない場合にはインターフェース部 2 5 にプリント機能を有する外部機器を接続すればプリントすることが可能となる。

【 0 0 3 5 】

さて、いままでの説明では親機 1 1 側から操作して情報サイトに接続する方法について触れた。しかしながら、請求項 1 に記載しているように、本発明においては子機 1 2 は親機 1 1 と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応しているので、子機 1 2 側から操作して情報サイトに接続することもできる。以下、子機 1 2 側から操作して情報サイトに接続する方法を簡潔に説明する。

【 0 0 3 6 】

図 5 に示すように、子機 1 2 は制御部 3 1 の制御の下にコードレス通信部 3 2 を通じて親機 1 1 側と双方向にコードレス通信を行う。制御部 3 1 は CPU や RAM や ROM 等で構成されており、子機 1 2 の制御全般を担っている。子機 1 2 には通話部 3 3 が備わっているので親機 1 1 の受話器 1 6 と同様に通話を行うことができるし、操作部 3 4 は親機 1 1 の操作部 2 3 とほぼ同様の操作が行えるだけの機能が備わっている。表示部 3 5 は親機 1 1 の表示部 2 2 より小さいが、必要にしてかつ十分な情報を表示できるだけの面積は確保している。その他にも色々な機能が備わっているが、本発明の要諦に関係ない部分の説明は割愛している。

【 0 0 3 7 】

この子機 1 2 は単に親機 1 1 とコードレス通信を行う通常の機能を有する機種であっても良いが、子機 1 2 に P H S 機能を持たせると親機 1 1 との通信範囲外である外出先でも子機 1 2 単独で相手側と通話をすることができる。また、少し複雑にはなるが子機 1 2 に携帯電話機能を持たせても良い。

【 0 0 3 8 】

本発明の複数の請求項における携帯電話装置用の情報提供サービスとは、子機 1 2 の内で P H S 機能や携帯電話機能を有する機種用の情報提供サービスのことである。そこで、子機 1 2 が携帯電話装置用の情報提供サービスに対応していれば、外出先でも子機 1 2 を操作して情報サイトに接続して情報を得ることができ

る。

【0039】

図6に示すように、利用者が子機12を使用して固定式の電話装置用の情報サービスを利用するには、まず子機12から親機11へコードレスで通信を行い、親機11から交換基地局2を介して情報提供サービスセンター3へ電話を掛ける。情報提供サービスセンター3と情報サービス提供者4側とは専用回線かインターネットかで結ばれているので、利用者が接続しようとする情報サイトが設けられている情報サービス提供者4側へ情報提供サービスセンター3で振り分けている。

【0040】

図7～図8に示すように、利用者が子機12を操作して得られる情報は表示部35に表示されるが、当然ながら図3～図4に示す親機11の表示部22に表示されたものと同様であり、画面のめくり方も同様であるので重複説明は省略する。既に親機11側で登録済みの情報メニュー27は子機12側でも自動的に登録されており、利用者は子機12側で同一の情報メニュー27を再度登録する必要はない。

【0041】

さて、子機12の表示部35には接続した情報サイトの情報が表示されている。表示部35に表示された情報が一瞥するだけで良い場合は単に表示するに止めるが、プリントして保存したい場合には操作部34を操作して親機11のファクシミリ機能部21のプリント部24を作動させてプリントすることができる。ただし、親機11と子機12とがコードレス通信可能な範囲にあるという条件の下に親機11側でプリント可能となるのである。親機11のインターフェース部25に高品質なプリントが可能なレーザープリンタ等の外部機器が接続してあれば、子機12の操作部34を操作することにより外部機器にデータを送信して外部機器で子機12の表示部35に表示された情報をプリントすることもできる。

【0042】

次に、子機12が単独で携帯電話装置用の情報提供サービスに対応している場合について説明する。この場合は、親機11と子機12とがコードレス通信可能

な範囲内にあれば、子機 1 2 側で得た情報を親機 1 1 側で受信可能なようにデータを変換して親機 1 1 側に送信することにより、子機 1 2 側で得た情報を親機 1 1 側に送信して親機 1 1 の表示部 2 2 に表示することができる。また、子機 1 2 の表示部 3 5 に表示した情報を親機 1 1 側に送信して親機 1 1 側でプリントすることができる。

【 0 0 4 3 】

以上に述べたように、本発明では子機は親機と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応している。そのため、子機が単独で携帯電話装置用の情報提供サービスにも対応している機種、例えば子機が P H S であれば、親機が設置してある家庭内では子機を本来の子機として使用することにより、子機は固定式の電話装置用の情報提供サービスが利用できる。また外では、子機を P H S として使用することにより、子機は携帯電話装置用の情報提供サービスも利用できる。このように、子機を単独で携帯電話装置用の情報提供サービスに対応させることにより、子機は固定用の電話装置用と携帯電話装置用との両方の情報提供サービスに対応した両刀使いとなる。

【 0 0 4 4 】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に回線を通じて各種信号の送受信を行う親機と、親機と双方向に無線で通信する子機とを備えたコードレス電話装置であって、

子機は親機と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に、子機は単独で携帯電話装置用の情報提供サービスにも対応する構成とした。

【 0 0 4 5 】

このことにより、子機は親機とコードレス通信可能な範囲であれば親機が対応する情報提供サービスを利用できるし、親機と通信が不可能な範囲では子機が対応する情報提供サービスを利用できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機の構造を示すブロック

図

【図 2】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 3】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 4】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の親機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 5】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機の構造を示すブロック図

【図 6】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 7】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 8】

本発明の一実施の形態によるコードレス電話装置の子機からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 9】

従来の電話装置からの情報サイトへの接続方法を示す模式図

【図 10】

従来の電話装置の構成を示すブロック図

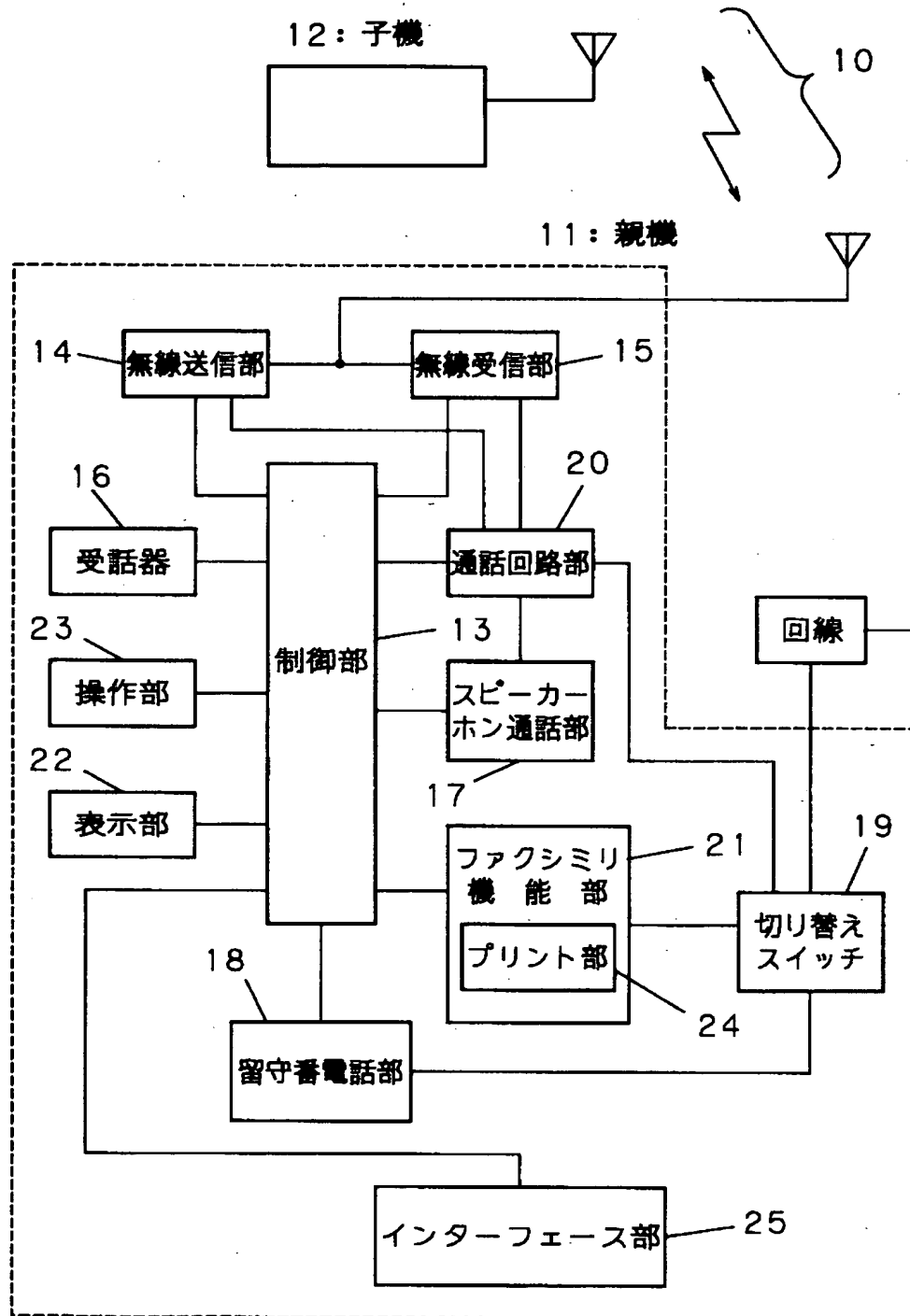
【符号の説明】

- 1 電話装置
- 2 交換基地局

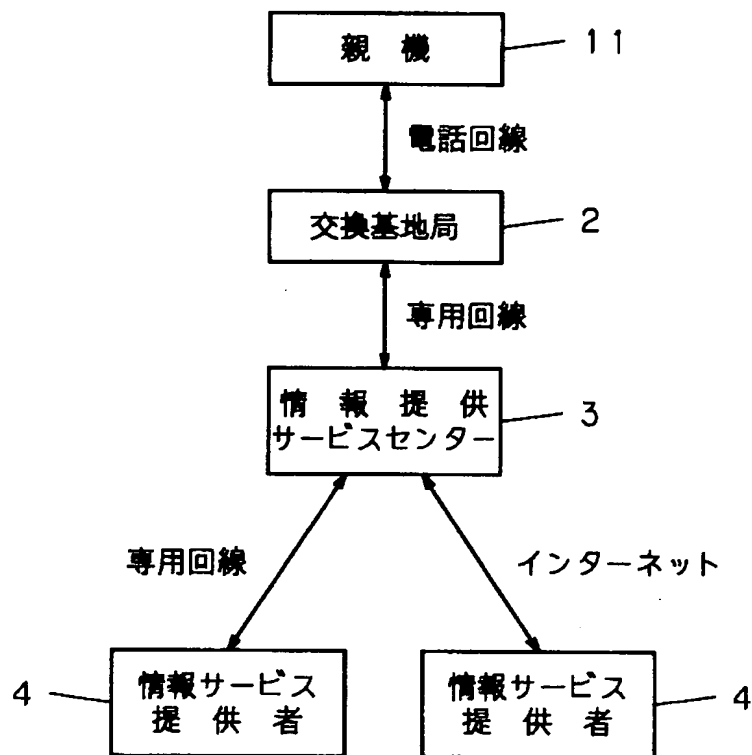
- 3 情報提供サービスセンター
- 4 情報サービス提供者
- 5 表示部
- 10 コードレス電話装置
- 11 親機
- 12 子機
- 13 制御部
- 14 無線送信部
- 15 無線受信部
- 16 受話器
- 17 スピーカーホン通話部
- 18 留守番電話部
- 19 切り替えスイッチ
- 20 通話回路部
- 21 ファクシミリ機能部
- 22 表示部
- 23 操作部
- 24 プリント部
- 25 インターフェース部
- 26 目次メニュー
- 27 情報メニュー
- 31 制御部
- 32 コードレス通信部
- 33 通話部
- 34 操作部
- 35 表示部

【書類名】 図面

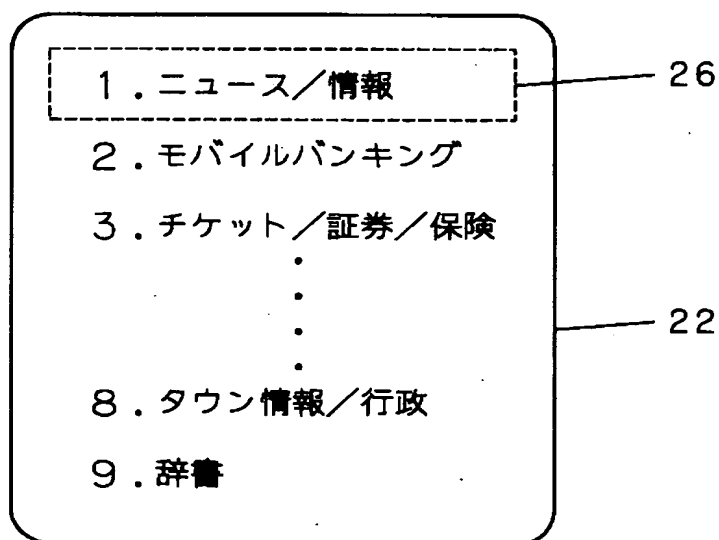
【図 1】



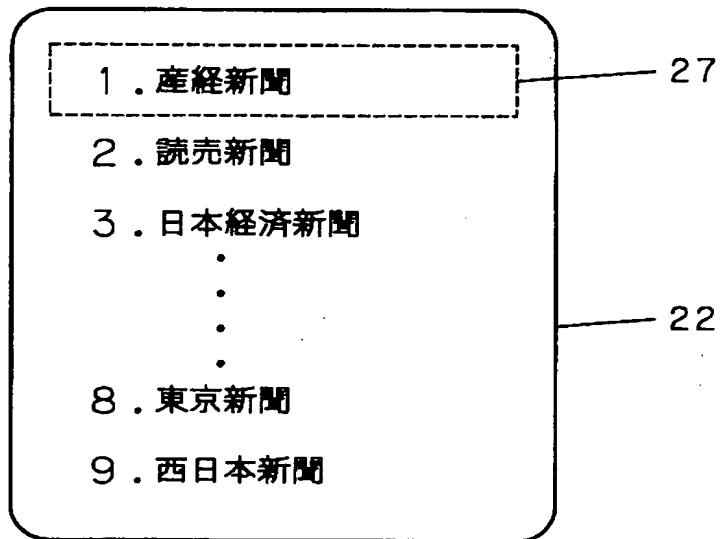
【図 2】



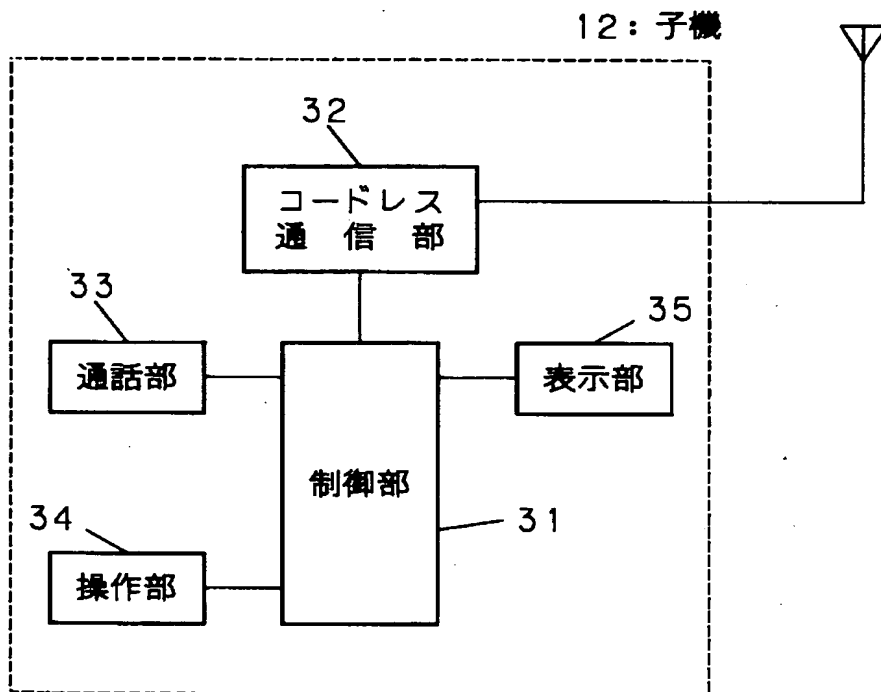
【図 3】



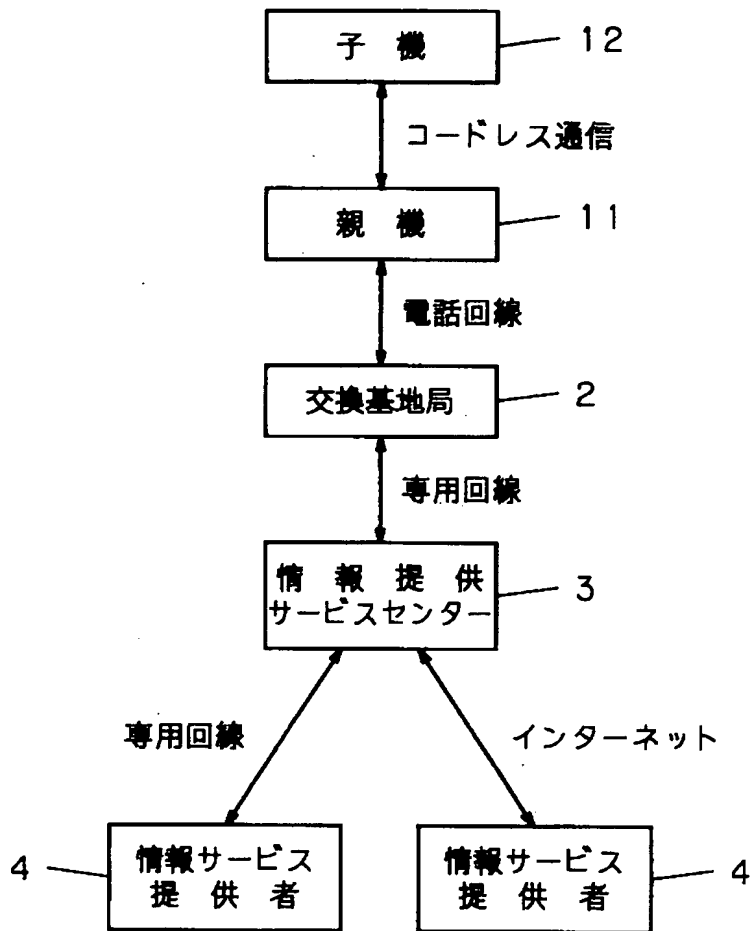
【図4】



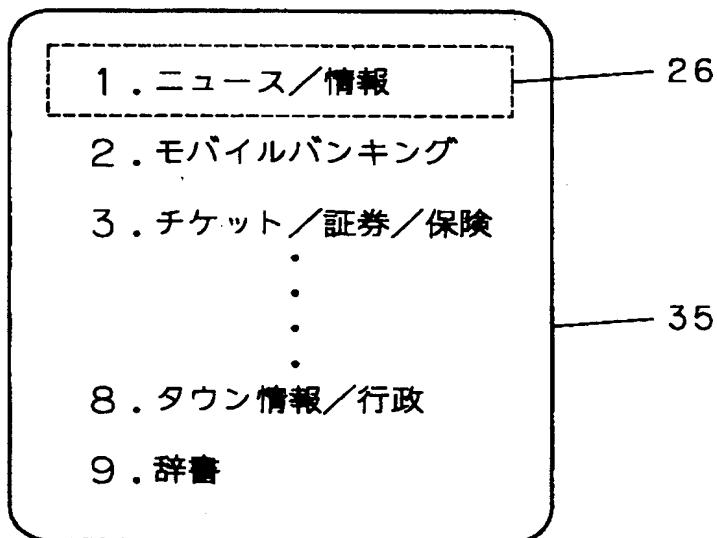
【図5】



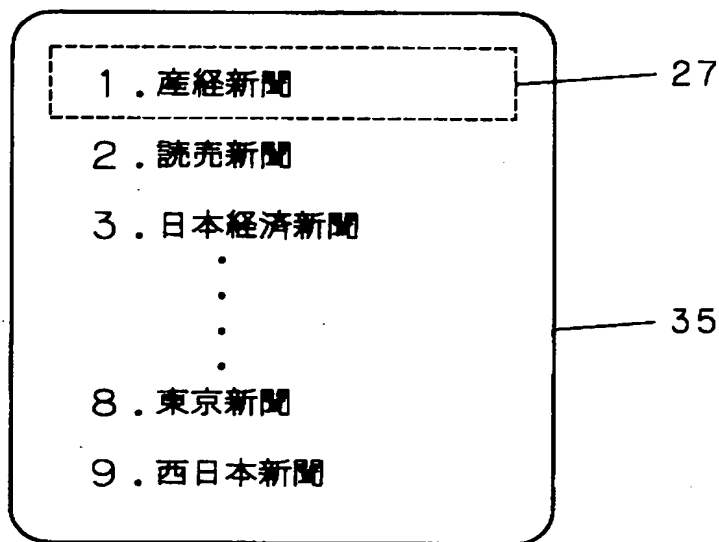
【図 6】



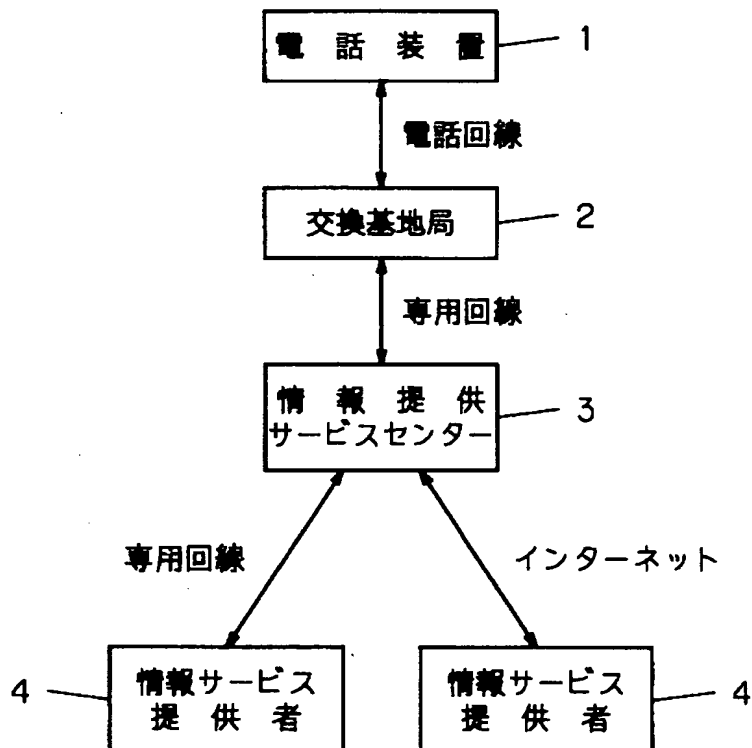
【図 7】



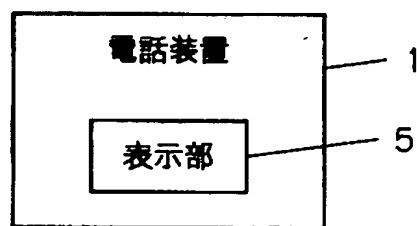
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 家庭の内外を問わず情報提供サービスを利用できるコードレス電話装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に回線を通じて各種信号の送受信を行う親機 1 1 と、親機 1 1 と双方向に無線で通信する子機 1 2 とを備えたコードレス電話装置 1 0 であって、子機 1 2 は親機 1 1 と対で固定式の電話装置用の情報提供サービスに対応すると共に、子機 1 2 は単独で携帯電話装置用の情報提供サービスにも対応する構成とした。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日	1990年 8月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名	松下電器産業株式会社